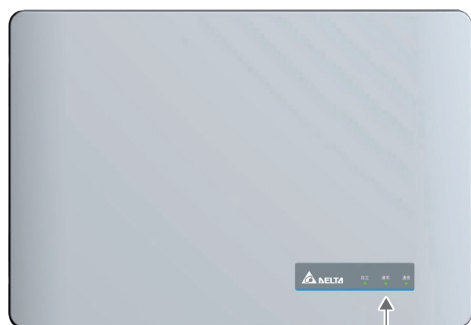


停電したとき セイバーHの電力供給

セイバーH2が停電の発生を検知すると、自立運転に切り替わり、自動で給電を開始します。パワーコンディショナ(H5.5E_230)の「自立」ランプが点灯、My Delta Solarアプリのホーム画面では、自立運転を表示します。



LED 表示パネル

[LED 表示パネル拡大図]



自動切替器

自動切替器が設置されている場合、停電時、電力供給回路を系統からセイバーH2に自動で切り替えます。

手動切替器

手動切替器が設置されている場合は、手動で切替器を操作することで、系統からセイバーH2に電力供給回路を切り替えます。

停電時のセイバーH2の出力と、動作可能な電気機器

停電時の自立運転では、ESH5.5B1 (シングルバッテリー) は、最大3kW、ESH5.5B2は5.5kW出力できます。一般的な100V家電、200V家電を使用することができますが、一部、電気機器が動作しないことがあります。通常時に試運転を行い、まさかの時に備え、事前に動作確認をされることをお勧めします。

1. モーターで作動する機器や運転開始時に大きな電流が流れる機器

掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機などのモーター類を備えた電気機器など。

2. 短時間で消費電力が大きく変動する機器

トースターや電気コンロ、電気ストーブ、電子レンジなど。

3. 電流ひずみの大きな(半波整流) 機器

一部のドライヤーや一部のサーキュレーターなどの強弱などのスピードや強さの設定がある機器の場合、「弱」、「中」などの設定で動作しないことがあります。「弱」、「中」などの設定を半波整流で行っている場合、電流ひずみと認識し運転停止することがあります。そのような場合、「強」にすれば動作することがあります。

My Delta Solar アプリ 停電時の表示

停電時の運転状況、蓄電池の残量

停電だなと感じたら、すぐに蓄電池の残量と、現在の消費量を確認してください。

停電中、既存の太陽光発電からは充電することはできません。残された電力を大事に利用してください。

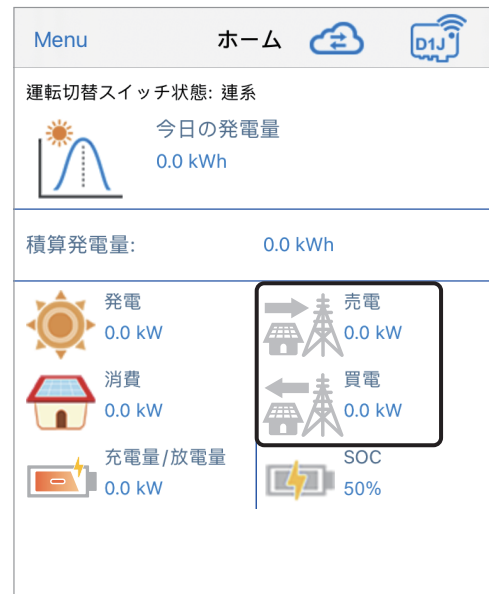
右図の場合、右下のSOCの値をご確認ください。(SOC 50%)

シングルバッテリータイプなら約2.8kWhの残量、ダブルバッテリーなら5.7kWhの残量となります。

なお、停電時は、買電、売電がグレー表示になります。

停電時の蓄電池からの電力使用量は、充電量/放電量の数値になります。右図の場合、0kWなので、現在、電気をまったく使っていない状態です。

停電時、マイデルタ・ソーラークラウドは、インターネット接続が不通になっている場合、表示されません。



《停電になったら、速やかに蓄電池残量を確認》

あとどれくらい蓄電池の残量があるか?どの電気機器が、どのくらい使用できるか?算段をつけます。停電が長引くかもしれません。蓄電池残量をだいに使いましょう。

蓄電残量が30%を切ると出力が不安定になり、オーバーロード(過負荷)が発生しやすくなります。蓄電残量が少ない場合、できる限り、動作する電気機器を減らし、蓄電池からの出力を押さえてください。



オーバーロードについて

蓄電池からの電力出力が間に合わず、オーバーロード(過負荷)を起こすと、瞬時にセイバーH2は出力を停止、システムダウン、停電状態となります。

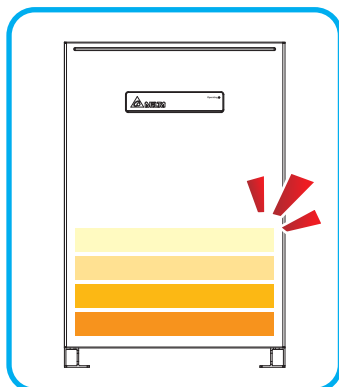
オーバーロードの原因は、大きく二つあります。

1. 消費量の多い電気機器を使っていて、セイバーH2の電力供給能力が追い付かなくなった。
2. セイバーH2の蓄電残量がなくなり、電力供給ができなくなった。

消費電力量の多い電気機器の例



蓄電残量が少ない



セイバーH2が突然停止(オーバーロード)



オーバーロードが発生したら、速やかに、オーバーロードの原因と思われる消費電力量の多い電気機器のスイッチを切ってください。

10秒前後で自動で再起動します。

再起動後、繰り返しオーバーロードが発生することがあります。

その場合、電灯など最低限必要な機器のみ残して、できる限り、全ての電気機器の電源を落としてください。蓄電池残量が寡少になっている可能性があります。



自立運転時、電気が使用できる配線に、「人命に直接かわる機器」、「人身の損傷に至る可能性のある装置」「石油ファンヒーターやガスファンヒーター、電気ストーブ」等を接続しないでください。